

COMV

Communication & Volunteer

2023

8・9

月合併号

vol. 279



特集

福祉のカタチ

人と川を結びながら 水の防災を地域に伝える

淀川管内河川レンジャー

- 5 こどもたちに火の大切さを伝える1day体験!
大阪南なみはやロータリー衛星クラブ × ミライフ西日本株式会社
- 7 地域を超えた、団体同士のつながりを願って
～令和5年度 大阪市ボランティア活動振興基金交付式～





『淀川絶景探訪』朝日の撮影会



福祉のカタチ

人と川を結びながら 水の防災を地域に伝える

淀川管内河川レンジャー

「福祉」という言葉の意味を調べると、多くの辞書では「幸福」や「幸せ」と表現されています。でも、「実際にはどういうことなのか、漠然としていて分からない」と感じている人や、行政の福祉サービスに関連することと理解している人も多いのではないのでしょうか。

今年度の『COMVO』では、地域などで多様な課題に取り組み団体にスポットを当て、それぞれの活動や想いを通じて『福祉のカタチ』を「見える化」し、皆さんとともに福祉についての理解を深めていきたいと思います。

今回は、淀川の環境保全や魅力発信を行いながら、水防災の啓発に取り組む『淀川管内河川レンジャー』の活動をご紹介します。

大雨や台風による水害が起これば、やすくなるこれからの季節。水害に対する備えや、地域での防災についても一緒に考えてみませんか？

それぞれの得意分野で 川の課題をテーマに活動

『淀川管内河川レンジャー』（以下、河川レンジャー）は、淀川水系をフィールドに、メンバーそれぞれが得意分野を活かしながら、河川と地域の良好な関係づくりに取り組んでいる人たちです。

淀川は、明治18年（1885年）に大洪水を受け、治水・利水を目的とした大規模整備が行われました。以来、河川管理は行政が中心となり、住民の川への関心は時代とともに薄らいでいきました。

「川には、危ない」というイメージがあり、親などから「川に近づいてはいけません」と言われてきた人も多いと思いま



淀川をクルーズしながら、大阪の地形を体感

す。川に関心を持ってもらい、住民と行政が一体になって川を守り育てようと、国土交通省が始めたのが河川レンジャーなんです。」

そう話すのは、淀川の下流域である大阪市内を中心に河川レンジャー・アドバイザーとして活躍する亀井伸幸さん（以下、亀井さん）です。

亀井さんは『淀川絶景探訪』などの活動で淀川の魅力を紹介するとともに、映像作家という本職を生かして、変化していく淀川の姿を記録し続けています。

一方、水害から身を守るための啓発も、河川レンジャーが積極的に取り組んでいる活動です。

大阪は、淀川、大和川、神崎川、寝屋川などの大きな河川と海に囲まれた、平坦な低地に位置しています。このため水害に非常に弱く、大雨や台風が発生した場合には、河川氾濫、内水氾濫、高潮、さらに地震が起きた際には津波による浸水が起ることが想定されています。2018年に発生した台風21号は、大阪に大きな被害をもたらしました。その数カ月前には大阪北部地震もあり、市民の皆さんが本当の意味で災害に目覚めた年だったと思います。この年をきっかけに、河川レンジャーでの防災啓発も大きく動き出したんです」と、亀井さん。



河川レンジャー・アドバイザーの亀井 伸幸さん

かねてからジェーン台風や第2室戸台風で被災した人々取材し、防災ドキュメンタリーの映像作品を制作していた亀井さんは、大阪での水害の歴史を伝えながら、防災の周知啓発を行っています。

※河川レンジャーとして長年のキャリアを持ち、後輩レンジャーのサポートをしながら活動をする人

防災力を高める ヒントがいろいろ 出前講座

防災は、実際に歩き、感じ、考えることが大切だというのが亀井さんの信念

です。また、地域に根をおろし、じっくりと防災意識を浸透させていきたいという思いから、自身が暮らす北区をメインに、地域の自治会や小・中学校での出前講座を行っています。

「講座の依頼内容はさまざまですが、私から提案できる場合には、3回の連続講座を行わせてもらっています。」

亀井さんのプランの第1回目は「水害講座」で、大阪市内の水害リスクや早期避難の重要性などを、まずは座学で伝えます。身近な建物が浸水した場合の合成写真を使ったり、大切なポイントをクイズ形式にしたり、参加者が自分事として捉えられるように工夫を盛り込むことも忘れません。



過去の台風事象から、水害リスクについて解説

第2回目は、参加者と一緒に町を歩いての『防災マップ』作りです。

「地域に古くから住んでいる人と一緒に歩く」と、「ここは以前の台風の後、長い間水が引かなかった」などの話が聞け、ハザードマップと見事に合致していたりします。また、例えば駐輪が多い場所では「浸水時は自転車がいっぱい倒れていて通れないかもしれない」などの気づきもあります。そんな情報をみんなで合わせることで、その地域だけのリアルな防災マップが出来上がるんです」と、亀井さん。

そして最後の講座は、水害から身を守る『マイ・タイムライン』づくりです。マイ・タイムラインとは、台風・豪雨な



個々の備えを考えて『マイ・タイムライン』づくり

どで危険が予想される時、自分や家族はいつ、どんな準備や行動を行うかを時系列的に整理してまとめる避難行動計画です。

「マンションに住んでいて「我が家は安心」と思っている人も多いと思います。でも台風が来る頃には、商店からは食料品がほとんど無くなります。歩くのが困難なお年寄りがいる家庭では、早い時間から避難が必要になるでしょう。人工透析をしている方は、浸水被害のない病院がある地域へ早期に避難を考えなくてはいけない。だから、個人個人の備えのタイムラインを考えておくことが、とても大事なんです。」

「防災力は想像力」と話す亀井さんの言葉は、さまざまなことへ気付かせてくれます。

地域で助け合う防災で 逃げ遅れる人をゼロに

都心部で啓発活動を行っている亀井さんには、少し気がかりなこともあります。それは地域でのつながりの希薄さです。

「私は、自分が住む大規模マンションで防災委員を務めています。よく見かける足の不自由なおばあちゃんが、何号室に住んでいるのかが分からなかったりします。

阪神・淡路大震災では、助けられた人

の8割が近隣住民によって助けられています。それは、近所さん同士がお互いの家や暮らしについて知っていたからできたことだと思えます。そういった啓発というか、近所の風通しを良くすることはできないかな、と考えています。」

防災は、まず自助から始まりますが、助け合う共助の意識も欠かせません。亀井さんは、災害時に逃げ遅れる人をゼロにすることが目標だと話します。

「マンション全体での居住者の把握は、個人情報などの面で非常に難しい部分があります。でも、町内会の班のようにフロアごとなら、お互いの情報を共有することはできるかもしれません。また避難訓練などでは、高齢の人に、せめて玄関前まで出て来てもらえるようお願いしています。実際に災害が起きた時には、そこから先はみんなが助け合えますから。」



地域自治会での浸水地歩行体験

今はそういったことを、まずは自分のマンションから推し進めているところなんです。」

万が一の災害の時、一人ひとりが自らの命を守り、共に助け合いながら行動することが減災につながります。地域ぐるみの防災意識が各所で芽生えていくことを願って、亀井さんたち河川レンジャーの、草の根的な活動はこれからも続いていきます。



淀川の魅力とともに、地域防災の大切さを伝える

淀川管内河川レンジャー事務局

TEL:072-861-6801 (平日9:00~17:00)

Eメール cyuuou-kasen@nifty.com

<https://www.river-ranger.jp>

【出前講座の受付なども行っています】

<https://www.river-ranger.jp/request/koza.html>





【避難指示(警戒レベル4)までに必ず安全な場所へ 台風、大雨で「いざ、避難!!」という時は…

早期避難がいのちを守る最大のポイントです。日頃から自宅のハザードマップを確認しましょう。

避難時の注意点は？

- ◎避難は明るい時間帯のうちに。**浸水する前に完了!**
- ◎**長靴での避難は危険!**歩きやすいスニーカーで。
- ◎やむをえず浸水部分を移動する時は、**傘などで足元を確認しながら一歩、一歩、慎重に。**
※側溝や排水溝と道との境目、マンホールなどに要注意!!

非常持ち出し品をチェック!

飲料水(持てる範囲で)	<input type="checkbox"/>	レジャーシート	<input type="checkbox"/>	ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>
非常食(ビスケットなど)	<input type="checkbox"/>	サバイバルブランケット	<input type="checkbox"/>	現金(公衆電話用の小銭も)	<input type="checkbox"/>
着替え用の上着・下着	<input type="checkbox"/>	携帯用トイレキット	<input type="checkbox"/>	ガムテープ(布製)	<input type="checkbox"/>
懐中電灯	<input type="checkbox"/>	タオル	<input type="checkbox"/>	筆記用具(油性ペンなど・ノート)	<input type="checkbox"/>
携帯電話、携帯充電器	<input type="checkbox"/>	歯ブラシなど洗面用具	<input type="checkbox"/>	常備薬・持病薬・お薬手帳	<input type="checkbox"/>
軍手	<input type="checkbox"/>	ポリ袋(大・小)	<input type="checkbox"/>	眼鏡(老眼鏡も)	<input type="checkbox"/>
ロープ(5m~)	<input type="checkbox"/>	トイレトペーパー	<input type="checkbox"/>	救急用品(消毒用綿、ばんそうこう、マスクなど)	<input type="checkbox"/>

※赤ちゃん、高齢者、女性など、個々に必要なものも忘れずに!
※あると心が豊かになるもの(家族の写真、好きなマンガなど)も持っていこう!

協力/(一社)福祉防災コミュニティ協会 湯井 恵美子



災害時にボランティアを調整するマッチング部分を疑似体験

みんなで助けあえる淀川区を目指して 「災害ボランティアセンター設置訓練」

いつ発生するか分からない災害に備え、地域住民と平時から顔の見える関係性を築くことを目的に、5月20日、災害ボランティアセンター設置訓練が淀川区民センターで開催されました。今回は災害ボランティアセンターの運営

に興味のある区民が参加。淀川区社会福祉協議会の職員がツアーコンダクターとなり、各ブースでの説明を受けながら、災害ボランティアセンターの役割や流れの理解を深めていきました。

被災者の困りごとに対応するボランティアを調整するマッチングブースでは、参加者に職業種別や被災地で希望する活動が設定された配役カードが渡され、地震により散乱した部屋の片付けや被災ごみの運搬をはじめ、避難所での学習支援など、力仕事だけではなく災害ボランティア活動の多様性を学びながら、活動に至るまでの過程を体験。

また、その他の受付やオリエンテーションなど、様々なブースの役割を学ぶなかで『いざ自分が災害ボランティアをするとなった時には』と想像する参加者からは、積極的意見や質問が終始飛び交いました。

淀川区ボランティア・市民活動センター
Eメール yodogawa.shakyo@gmail.com
<https://www.yodogawaku-shakyo.com>

子どもたちに火の大切さを伝える1day体験！

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ×ミライフ西日本株式会社



火に親しみ、火を学ぶ
多彩なプログラムを体験

5月27日、城東区にあるリンナイ関西研修センターに、中央区在住の子どもたちがワクワクしながら集まりました。この日行われたのは、『火』をテーマにした1day体験です。



揚げない"から揚げ"づくりに挑戦！

火育マイスターが自己紹介を終えると、早速、LPガスや防災に関するクイズがスタート。「正解が多い人には景品があります」という言葉で、子どもたちはたちまち真剣モードに入ります。そしてクイズにからめながら、LPガスの紹介や地震・火災時に気を付けるべき点などをわかりやすく学びました。

料理体験では、油で揚げない"から揚げ"づくりに挑戦！高学年の子が低学年の子を助けながら一緒に調理している姿がほほえましく、出来上がったから揚げは、お昼ごはんとしてみんなでおいしくいただきました。

そして午後からは、仕事体験と火おこし体験です。仕事体験では、30kgのガスボンベをガスの店員さんに教えてもらいながら運び、仕事内容についての話も聞きました。火おこし体験では、実際に火種づくりを2人1組で協力して行い、昔はどのように苦労をして火を起こしていたのかを体験。子どもたちはみんな夢中で、火種ができるまで諦めず、終了時間を迎えるまで取り組んでいました。



大人も一緒に、火種づくりに夢中！

社会貢献として、子どもたちの
未来の選択肢を増やす取り組みを



今回の1day体験は、これまで、どもの居場所活動に物資支援をしてきた「大阪南なみはやロータリー衛星クラブ」が、「子どもに何か体験活動をしてもらいたい」と、LPガス販売事業を手がける「ミライフ西日本株式会社」に相談したことからスタート。「中央区子

どもの居場所連絡会」と連携し、開催しました。



左から、ミライフ西日本(株)唐木さん、菊田さん、大阪南なみはやロータリー衛星クラブ 小浦さん

「もっと元気にはしゃぎたい」子どもたちが、火おこし体験の時には静かに夢中で取り組んでいたのが印象的でした」と、ミライフ西日本株式会社社の菊田さん。大阪南なみはやロータリー衛星クラブの小浦さんも、「子どもたちの未来の選択肢が1つでも増えるように様々な種類の体験を提案し、引き続き取り組んでいきたい」と、今後の抱負について話してくれました。

中央区子どもの居場所連絡会
(事務局 大阪市中央区社会福祉協議会)
Eメール tiiki@eos.ocn.ne.jp

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。

たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。

そして、地元の人々の生活を助けること。

地元の子どもの明るい笑顔が力になって私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社は、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」と始めた運動でした。だけど

それは単純な話ではなかった。

インドネシア・バリヤンで知ったことは「森林は地元の人たちが、生きするために仕方なく木を切り倒していたという事実」。「植材に加え、果樹も育て果実を農民の新しい収入源にする」というプロジェクトをはじめた。人と森・生きものが共に生きる場所を取り戻そう。

「植えた木の本数」「面積」といった数値だけでは本当の意味で熱帯林は再生しません。地域の人々と手を組み合せて考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。

三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動もすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

地域を超えた、団体同士のつながりを願って

令和5年度 大阪市ボランティア活動振興基金交付式

それぞれの想いを胸に
156の団体が集結

爽やかな晴天に恵まれた5月26日、阿倍野区民センター大ホールにおいて、『令和5年度 大阪市ボランティア活動振興基金交付式』を行いました。

この基金は、大阪市内で福祉課題に取り組みボランティア活動の支援を目的に、1980年から大阪市社会福祉協議会(以下、市社協)が行っている助成事業です。今年度は156団体が、居場所づくり支援、活動支援、立ち上げ支援などの7項目で助成を受けることとなりました。



所運営委員長から助成決定証書を贈呈



式典には全156交付団体の代表者が参加

最初に、市社協 吉村浩常務理事が「今回は新規団体の応募も多く、ウィズ・コロナの潮流とともに活動が活発になっていくことを期待しています」と

開式挨拶を述べ、続いて、助成決定証書の贈呈を行いました。

今回は、『一般社団法人 大阪ふうせんバレーボール普及会』が全団体の代表

として壇上に登り、参加者全員が見守る中、助成決定証書を受贈。

贈呈後、所めぐみ運営委員長は「二つの申請書類から、地域の課題解決への取組みや想いが伝わって来ました。皆さんの活動のすべてが、大阪のいきいきとした土壌づくりに欠かせません」と講評を述べました。

活動での学びと知恵を 団体同士で生かし合おう

第2部では、今年度の交付団体を代表して2団体が活動発表を行いました。

『公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪支部』は、認知症の人の居場所・活動拠点として運営する『おれんじドアおおさか』について発表。昨年度から開催している『野菜マルシェ』が、野菜の袋詰め、接客など、認知症の人それぞれが役目を持ち、力を発揮できるツールとなっており、地域の人たちも、自然な交流の中で認知症に対する理解を深めてくれていると報告しました。

大人のひきこもりの伴走支援に取り



式典後は、団体同士が交流する姿が会場各所に

組む『一般社団法人 マノアマン』は、ひきこもりの人数が増加するとともに長期化・高齢化していると、問題の深刻さを解説。その中で家族の孤独化・孤立化も進んでおり、今回の助成で「家族の会」を立ち上げ、親同士のつながりを構築していきたいと話しました。

最後に、大阪市ボランティア・市民活動センター 上野谷加代子所長が「登壇者一人の発表に底力を感じました。ボランティア・市民活動は、活動者同士がつながることが大切。今後皆さまには、ぜひともネットワークづくりをお願いいたします」と挨拶。参加者全員がそれぞれの活動を称え合う拍手を送り、式典は終了しました。

大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618
<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp>

令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金 活動支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組み活動の継続的な実施を目的とした事業の支援

多様性を力にできる、社会づくりをめざして

レインボー3710

『レインボー3710』は、セクシャルマイノリティの人たちと、その友人やアライ(協働パートナー)が一緒に作り、性の多様性(LGBTQ)に関する啓発活動を行っている団体です。港区が定期的に開催している『レインボーカフェ』10』で出会った仲間たちが、より自主的な活動をめざして2016年に発足しました。

主催する交流会には、SNS(ツイッター)や紹介で知り合った人たちも参



気軽に立ち寄れる雰囲気大切に、展示ブースを演出

加。誰もが思い思いのことを話せる、ゆるやかな居場所になっています。また、「みなと区民まつり」など、港区内でのイベントを中心に、多様な性に関するパネルや書籍が見られるブースを出展。子どもたちもゲームを楽しみながら、「コミュニケーション豊かに啓発を行う」ています。さらに大阪府下の小・中学校や団体、企業での講演の機会が増え、活動の範囲も広がってきました。

「大きな目標を持つのではなく、自分たちが動きやすいかたちで活動を続けていくことが目標です。そうすることで『レインボー3710』を必要とする人に見つけてもらえたり、新たな活動につながっていくばいいなと思っています。」

代表の津村雅穂さんは、穏やかな笑顔で最後にそう話してくれました。

レインボー3710

Eメール rainbowminato3710@gmail.com
Twitter @Rainbowminato

令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金 居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題の解決のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

地域の人々が交わるみんなのための子ども食堂

しょうとう子ども食堂

『しょうとう子ども食堂』は、6年前に設立した生野区にある子ども食堂です。地域の子ども会で「電子レンジでチンしてご飯を食べてるねん」というごどももの泣きを聞いたことをきっかけに、代表の科埜広太郎さん(以下、科埜さん)は、ごども食堂の開催を決意しました。

はじめは、回覧板やポスティングで呼びかけましたが、反応はいまいち。そこでSNS等へ掲載するなど周知方法を工夫したところ二気に広がり、参加するごどもは多い時は80人になることも。

料理の品数も多く、厨房は大忙しです。それでも「手を加えて、作るから家庭料理。みんなで食べるから、嫌いなものでも食べられる。」と信じて、活動を続けます。

活動しているうちに、自分のことを話してくれる子ども出てきました。科埜さんは、「何か辛いことがあった時、ここがひとつの逃げ道になってほしい。継続することの難しさはあるけれど、孤立する人がないように、いつ来ても頼れる、手を差し伸べられる、



子どもたちに大人気の科埜さんご夫婦

365日誰がいつ来ても居場所になるように活動していきたい。そして今後は、間口がさらに広がるように、地域の力も借りながら大人食堂や習い事ができるようにしたいんです」と、力強く話してくれました。

しょうとう子ども食堂

Eメール hirotarou1220@yahoo.co.jp

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④お試しボランティア大募集!!「ちょこっとお手伝い」しませんか～

中央区社会福祉協議会

<http://www.osaka-chuo-syakyo.jp/>

平日 土日祝
単 続

中央区にお住まいで高齢者・障がいのある方・子ども等を対象にボランティア活動者を募集します。買い物、掃除など活動時間は1時間程度です。

日 程 8/1(火)～9/30(土) (日、祝除く)9:00～17:00

場 所 利用者宅

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ 〒542-0062 中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも
TEL/06-6763-8139 FAX/06-6763-8151
Eメール tiiki@eos.ocn.ne.jp (担当:御木)

⑤子どもの未来を応援しませんか?

子ども未来応援団

<https://mkidsosaka.wixsite.com/website-1>

土日祝
単 続

児童養護施設で、園児たちに「ひらがな教室」を月1回、開催しています。楽しいですよ～(^^)

日 程 毎月1回(日曜日) 10:00～11:30

場 所 海の子学園 入舟寮(港区池島3-7-18)
地下鉄「朝潮橋」駅から徒歩10分
市バス88系統「八幡屋」から徒歩7分

人数・条件 施設と団体の規則があります(一般的なことです)
年会費:500円 定員:5人(先着順)

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/080-6174-0531
Eメール m.kids.osaka@gmail.com (担当:高橋)

⑥子どもたちが自由に!プレーパークで遊ぼう!!

生野子育て社会化研究会

<https://www.facebook.com/ikunokosodachi/>

平日
単 続

子どもたちが、のびのびと自由に遊ぶ場づくりをします。プレーシートの巨大プールとすべり台、好きなだけ走り回ったり、かき氷やすいか割り、工作など。

日 程 7/27(木)8:00～16:00
(プレーパーク11:00～15:00 途中休憩あり)

場 所 いくのパーク(旧:御幸森小学校)
(生野区桃谷5-5-37)
JR・地下鉄・近鉄線「鶴橋」駅から徒歩13分

人数・条件 どなたでも 定員:15人(先着順)、応相談

申込方法 Eメール 締切:7/21(金)

問合せ▶ TEL/080-2422-1515
Eメール ikunokosodachiken@gmail.com (担当:隅田)

①弦楽器ボランティアメンバー募集

福祉の管弦楽団まごころ

<http://www.orch-magokoro.com/>

土日祝
単 続

日本初のボランティア・社会貢献専門の合奏団!!福祉の場で、あなたのあたたかい心をボランティア演奏に活かしてください。まずは行動・ご見学を!

日 程 日曜日(月に2回程度・出欠早退は自由です)13:00～16:00

場 所 都島区民センター(都島区中野町2-16-25)
JR「桜ノ宮」「京橋」「都島」駅から徒歩約10分
地下鉄「京橋」「都島」駅から徒歩約15分

人数・条件 福祉の場でのいろんなジャンル(難曲はありません)の合奏に参加できる程度の方。譜面台はご持参ください。
交通費:対外演奏の場合、支給されることがあります。
参加費:500円(ご見学のときは不要)

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ TEL/090-1481-9910
Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp (担当:仲川)

②定期環境美化活動(ごみ拾い)に参加しませんか?

特定非営利活動法人 MSISK

<https://www.msisk.net>

土日祝
単 続

天王寺エリアを中心に清掃活動を行います。どなたでもご参加いただけるシンプルなおごみ拾いです。

日 程 毎月第2土曜日・第4日曜日9:00～10:30

場 所 JR天王寺駅 東口(公衆電話前集合)

人数・条件 どなたでも 定員:50人(先着順)

申込方法 電話・Eメール・郵便・HP・来所

問合せ▶ 〒546-0014 大阪市東住吉区鷹合3-8-17
TEL/06-7505-4435 Eメール info@msisk.jp (担当:岩崎)

③あなたの一芸を小さな社会貢献に役立てませんか?

なにわ演芸ボランティア

土日祝
単 続

老人ホームや福祉施設で月1～2回、演芸ボランティアを実施しています。例えば落語やMagic、郷土芸能や歌など、演芸のジャンルは問いません。自慢できる一芸をお持ちの人、是非お待ちしております。

日 程 月に1～2回(日曜日・祝日)

場 所 大阪・京都・神戸等の高齢者施設・福祉施設・自治会などを中心に活動

人数・条件 秀でた一芸をお持ちの人、ご自分の車で移動できる人歓迎
会費:1回につき1,000円(弁当代・親睦会費として)

申込方法 電話・FAX

問合せ▶ TEL/06-6621-9171・090-9284-4193
FAX/06-6621-9181(担当:新垣)

⑩日本語教室 ボランティア養成講座

クレオ大阪東日本語教室
平日
単
継

<https://forms.gle/1fZ4UCg1i7arAAh38>

地域の外国人とコミュニケーションしませんか？
日本語の学習を通して、お互いの文化を学びあい、交流し、地域の中で共に生きていくヒントを探しませんか？

日 程 7/27(木)、8/10(木)、8/17(木)、8/31(木) ※1回のみでもOK
 各回10:00~11:30

場 所 クレオ大阪東(城東区鶴野西2-1-21)
 JR[京橋]駅南口から徒歩7分
 地下鉄[大阪ビジネスパーク]駅4番出口から徒歩7分

人数・条件 どなたでも(日本語ボランティアに興味ある方)
 参加費:無料

申込方法 申込フォーム(上記URLを参照)

問合せ▶ Eメール creoeast.nihongo@gmail.com

⑦「元ラクビー日本代表キャプテン・廣瀬 俊朗さん」講演会

一般社団法人 大阪労働者福祉協議会
平日
単
継

<https://www.osakarofukukyo.or.jp/>

大阪労協協は結成70周年記念事業として、元ラクビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗さんをお招きして、講演会を開きます。奮ってご参加ください。

テーマ:「なんのために戦い なんのために勝つのか」

日 程 8月28日(月) 18:30~20:00 17:30から受付

場 所 エル・おおさか本館2階 エル・シアター(中央区北浜東3-14)
 地下鉄・京阪[天満橋]2号出口より西へ300m
 地下鉄・京阪[北浜駅]より東へ500m

人数・条件 どなたでも(要申込) ※申込完了後、参加券を送付します
 定員:700人(定員になり次第締切) 参加費:無料
 ※手話通訳が必要な方は、お申し出ください。

申込方法 電話・HP

問合せ▶ TEL/06-6943-6025 (担当:間瀬)

⑪天文宇宙講演「元素からわかる銀河進化」

関西で星を学ぶ会
土日祝
単
継

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

私たちの身の回りの物質はどこでつくられているのでしょうか?人間とは?地球とは?宇宙から考えてみる講座です。銀河の進化について学習します。

日 程 9/3(日) 13:30~16:30

場 所 大阪市立総合生涯学習センター(北区梅田1-2-500 大阪駅前第2ビル5階)
 地下鉄[梅田][東梅田][西梅田]駅
 JR[大阪][北新地]駅

人数・条件 高校生以上 定員:50人 参加費:無料

申込方法 HP 締切:9/1(金) 17:00

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
 Eメール k337yjunang@gmail.com

⑧「いくの区 ボランティアDay」音訳・点訳・手話体験講座

生野区社会福祉協議会
土日祝
単
継

<https://ikunoku-shakyo.jp/>

生野区内のボランティアによる、演奏、演技発表や体験、相談ができます! また、小・中学生対象の手話・音訳・点訳講座を同時開催します。

日 程 8/19(土) ボランティアDay:12:00~15:00(受付:11:30~)
 講座:12:00~13:30

場 所 リゲッタKUNOホール(生野区民センター内)
 (生野区勝山北3-13-30)
 JR[桃谷]駅から徒歩15分
 JR[寺田町]駅から徒歩20分

人数・条件 ボランティアday:どなたでも
 講座:小学生・中学生及びその保護者(定員:30人 先着順) ※要申込

申込方法 電話、FAX

問合せ▶ TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001 (担当:原)

⑫クレオ大阪 一時保育ボランティア養成セミナー

クレオ大阪子育て館
平日
単
継

<https://creo-osaka.or.jp/north>

クレオ大阪各館で行うセミナー・講座等の一時保育を担う保育ボランティアを養成します。活動に必要な知識を学んでいただけます。

日 程 9/13(水) 10:00~16:00

場 所 クレオ大阪南(平野区喜連西6-2-33)
 地下鉄[喜連瓜破]駅1番出口から徒歩5分

人数・条件 保育ボランティア活動に興味のある人
 定員:20人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・HP・来所

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋6-4-20 7階 クレオ大阪子育て館
 TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277 (担当:川合)

⑨関西いのちの電話創立50周年記念 関西いのちの電話 第41回公開講座 「片麻痺の精神科医は何を見ているか〜夜しか開かない精神科診療所〜」

社会福祉法人 関西いのちの電話
土日祝
単
継

<http://kaindnew.com>

関西いのちの電話は今年9月で50周年を迎えます。今回はアメリカ村の夜の診療所「アウルクリニック」院長、精神科医 片上徹也さんをお迎えします。

日 程 9月2日(土) 13:30~15:00

場 所 ドーンセンター ホール(中央区大手前1-3-49)
 京阪・地下鉄[天満橋]駅1番出口から350m
 JR[大阪城北詰]駅2番出口から550m

人数・条件 一般市民対象 参加協力費:1,000円(当日1,200円)
 定員:500人(先着順)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6308-6868 FAX/06-6308-6180
 Eメール kaind@x.age.ne.jp (担当:増田)

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1

興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2

活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3

約束やルールは必ず守ろう!

Point 4

相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5

万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑰「第7回 日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集

公益財団法人 日本女性学習財団

https://www.jawe2011.jp/nii_awards/index2023.html

「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏み出したい/踏み出した人(踏み出す人を支援する人・グループも可)の思いやその過程などをまとめたレポートを募集します。

賞 大賞1篇 奨励金10万円 ※該当がない場合もあります。

応募資格 趣旨に関心を持つ個人及びグループ(性別・国籍を問わず)

応募規定 5,000~10,000字(見出し・小見出しを含む)
体裁・A4版用紙(横書)1ページを40字×30行に設定 ※詳しくはHPを参照

応募方法 Eメール(添付ファイル)または郵送(簡易書留)

応募締切 8/31(木)(当日消印有効)

問合せ・提出先▶公益財団法人 日本女性学習財団 第7回未来大賞係
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館
Eメール jawe@nifty.com

⑱第21回 企業フィランソロピー大賞

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

<https://www.philanthropy.or.jp/award/21/>

社会の課題解決のために、自社の経営資源(人材・ノウハウ・技術・情報など)を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰し、広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。

応募要件 企業が行う社会課題の解決や社会の健全な発展に寄与する活動

- 自薦、他薦を問いません ●企業の業態・規模の大小を問いません
 - 各事業所や部門単位でのプロジェクトも応募可能
- ※NPO等、非営利法人の活動は、贈呈対象ではありません。

選考基準 ①革新性 ②継続性 ③波及性 ④経営との関連性 ⑤経営資源の活用

応募方法 所定の応募用紙をHPよりダウンロードし、記入のうえHPのフォームで送信

応募締切 9/1(金)

問合せ▶TEL/03-5205-7580 FAX/03-5205-7585
Eメール 「お問合せフォーム」をご利用ください(担当:牛尾)

⑲がん患者団体助成

公益財団法人 正力厚生会

<https://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

がん患者やがん患者を支援する団体を取り組む優れた事業に助成します。相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、ホームページの開設・改修など、企画運営が対象です。

応募資格 がん患者会、がん患者とその家族を支援するグループなど
※国内で活躍するグループ(医療機関内の患者会等を含む)で法人格の有無は問わない

助成額 1件(1団体)当たり50万円以下

応募締切 10/17(火)必着

問合せ・提出先▶公益財団法人 正力厚生会事務局
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル29階
TEL/03-3216-7122 FAX/03-3216-8676

⑲新スタッフ、指導員養成の講習会

一般社団法人 大阪ふうせんバレーボール普及会

<https://www.balloonvolleyball.org/>

バルーン(風船)をボールに、だれでも一緒に、バレーボールを楽しみます
新サークル立ち上げに協力していただける方、募集します。

日程 7/23(日) 15:45~17:45
8/13(日) 13:00~15:00

場所 大阪市長居障がい者スポーツセンター(東住吉区長居公園1-32)
地下鉄「長居」駅1番出口から徒歩3分
JR「長居」駅から徒歩5分

人数・条件 社会人対象 定員:6人(先着順) 参加費:無料

申込方法 FAX・Eメール

問合せ▶FAX/06-6815-3523
Eメール ishkatsu@yahoo.co.jp (担当:石井)

⑲第93回点訳奉仕員養成講座

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

点訳奉仕員を目指して、点字を初歩から学びます。※講聴者対象です

日程 8/16~10/18(毎週水曜日・全10回) 13:00~16:00

場所 大阪市立社会福祉センター 会議室(天王寺区東高津町12-10)
近鉄線「大阪上本町」駅11番出口から徒歩3分
地下鉄「谷町九丁目」駅4番出口から徒歩10分

人数・条件 大阪市内在住・在勤・在学の 定員:20人(先着順)
参加費:無料(テキスト・点字板は用意いたします)

申込方法 往復ハガキ・FAX・Eメール※電話申込不可
(住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号の記入必須)

問合せ▶〒543-0021 天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会
TEL/06-6765-5600 FAX/06-6765-2554
Eメール daishikyo-shomu@wine.ocn.ne.jp
※上記アドレスからのPCメール受信設定をお願い致します

⑲多世代!夏あそび! つくる「ところ」たのしむ「ところ」

特定非営利活動法人 ところ

<https://forms.gle/kq5M3jHux8R4Av7E8>

地域の方が昔ながらの「あそび」をレクチャー。こどもたちと、そのご家族に寄り添いながら安心して過ごせるイベントです。ご参加お待ちしております!

日程 8/22(火) 10:00~12:00

場所 たちばな会館(平野区加美鞍作1-2-31)
JR「加美」駅から徒歩5分
JR「新加美」駅から徒歩5分

人数・条件 気持ちを伝えるのが難しい小学生・中学生
コミュニケーションが苦手と感じるお子さんとそのご家族
定員:10人(先着順) 参加費:材料費のみ

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶Eメール tokoro.office@gmail.com (担当:齊藤)

⑲第3回阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト

阪神高速グループ各社 助成事務局:(社福)大阪ボランティア協会

https://osakavol.org/news/subsidy/challenge_project2023.html

市民団体との協働による社会課題の解決に取り組み、地域・社会の持続的発展及びSDGs達成へ貢献することを目的とします。

助成対象 申請する事業の活動エリアに、阪神高速道路が通過する市町が含まれていること、など ※詳しくはHPをご覧ください

助成額 1事業につき上限額:50万円 8事業程度

応募方法 HPから申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえメールで提出してください(※HP参照)

応募締切 7/31(月)17:00※必着

問合せ・提出先▶社会福祉法人 大阪ボランティア協会(助成事務局)
〒540-0012 中央区谷町2-2-20
TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902
Eメール challenge_project@osakavol.org (担当:谷垣)

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリレースタイルでお届けします。

一人でがんばらなくていいんだよ、と伝えたい

特定非営利活動法人 子どもセンターぬっく

『子どもセンターぬっく』は、虐待、非行、その他の理由によって、居場所を失ったこどもに、安心・安全に暮らせる場を提供し、自立を支援しているNPO法人です。

こどもの居場所として緊急の避難場所である子どもシェルター『ぬっくハウス』と、自立援助ホーム『Re-Co(りこ)』を運営しています。どちらも対象は15歳から20歳の女子で、入居したこどもに安心して過ごしてもらえるよう、24時間スタッフやボランティアが常駐しています。こども一人ひとりに担当の弁護士(コタン)が就き、スタッフや児童相談所職員と連携を取りながら、こどもに寄り添い、今後の生活や将来についてこどもと一緒に考えています。

居場所がないなど、さまざまな生きづらさを抱えたこどもの悩みや相談を聴いて、今後のことを一緒に考える電話相談も行っています。こちらは10代・20代の若者が対象で、性別を問いません。必要に応じて弁護

<https://www.nukku.info/index.html>

士がこどもの代理人に就き、無料で法的支援をおこないます。

生きづらさを抱えたこどもたちの揺れやつまずきに寄り添い、そのままを受けとめ、こども自身の気持ちを真ん中に据えた支援に、今後も粘り強く取り組んでいきます。



こどもに寄り添い、一緒に考え、行動することを大切に

情報求む!



おくばっくん

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例:2023年10月15日発行号(11月号)に掲載希望の場合は2023年8月末まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター「おくばっくん」をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたんで持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



おしゃべりしながら、一緒に勉強を楽しんでいます

子どもたちと関わるなかで

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.33

私は現在、養護教諭種免許取得のため、教育について学んでいます。その中で、様々な発達段階の子どもたちと接し、その子どもたちに応じた対応ができるような養護教諭になりたいと強く思うようになりました。

少しづつ話してくれるようになりました。何事も手を抜かず、子どもたちと共に真剣に楽しむというこの大切さを学ぶことができました。そのひとつひとつが私にとっての喜びであり、やりがいに繋がっていききました。

正直、まだどうしたら良いか分からないことだらけではありますが、これからも積極的に子どもたちとコミュニケーションをとり、自分なりに道をみつけ、『ろーたす』でのボランティア活動をこの先の自分自身に活かせるようにしたいです。



桃山学院教育大学
人間教育学部人間教育学科
吉川 真奈

プロフィール

所属団体：NPO法人 不登校・病児自立支援事業「ろーたす」
趣味：お菓子作り
学年：3年

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO279号係」まで



(住所は下記参照)

※締め切り 2023(令和5)年8月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

近畿大学で「創業融資の基本」について講義

当金庫は4月26日、近畿大学の「KINCUBA起業準備セミナー」に協力し、当金庫職員が起業を志す学生を対象に「創業融資の基本」について講義を行いました。

本セミナーは、同大学が学内発のベンチャー企業を支援するプログラム「KINCUBA」の一環として開催したものです。講義では、創業事例の紹介に続いて活発な質疑応答が行われ、講義後は「起業の目標ができてよい刺激となった」などの声をいただきました。

当金庫は今後も、大学生を含めあらゆる年代の起業を志す皆さまへの創業支援に取り組み、地域発展に寄与してまいります。



セミナーの様子

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

赤字が
本文1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
		幅	高さ
表4 1ページ	234,000円	240	170
表4 1/2ページ	127,500円	117	170
本文 1ページ	156,000円	257	182
本文 1/2ページ	85,000円	117	170
本文 1/5ページ	38,000円	48	162

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

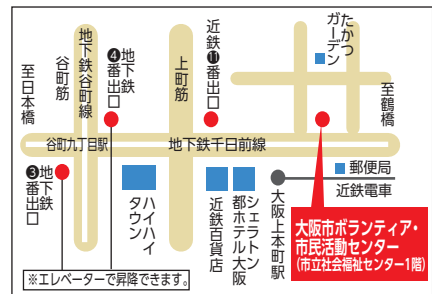
Osaka City Voluntary Action Center

所在地 / 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間: 午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
 - 休館日: 日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日: 2023年7月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
 - 発行部数: 40,000部 ●制作協力: 商工印刷株式会社 ●点訳協力: NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。
●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



お知らせ

情報誌COMVOは年10回の発行です。
次回は令和5年9月15日発行になります。
(令和5年8月15日は休刊です)COMVO編集室

「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能!

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など
※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668